

教育研究に向けて

日頃より本校の教育研究活動に深い御理解と厚い御支援を
いただいておりますことに心より感謝申し上げます。今年度
はようやくコロナ対応の日々から抜け出し、対面を基本とす
る毎日が戻ってまいりました。それに伴い令和5年度附属旭
川小学校教育研究大会は、対面参加を基本とし、一部の教科
はオンライン参加を併用して行います。半日開催ではありますが、
久しぶりに参加者の皆様と顔を合わせられることを楽し
みにしております。

今年度より研究主題「新たな価値を創り出す子供を育てる
教育活動の創造」に3年間取り組んでいくこととなりました。
本校では「新たな価値を創り出す子供」の姿を、「自ら『問い』
を見だし、その解決策を模索し遂行することを通して、探
究し続けることの価値を見いだす姿」と定義しています。こ
の姿は本校の教育目標である「主体的人間の育成」と直結し
ております。教師はこのプロセスのファシリテーターとして、
子供の成長を支えていくことを目指し、研究を進めてまいり
ました。

1年次の研究テーマは「各教科・領域における『個別最適
な学び』と『協働的な学び』を通して」です。本校教員はそ
の実現に向けてICT機器の活用を模索し、教科担任制を通
して授業の質的向上を図ってきました。どうぞその成果を御
覧いただき、忌憚のない御意見をいただければ幸いです。

全国の大学及び附属学校園は、教育研究に率先して取り組
み、その成果を公開することが求められております。附属旭
川幼小中は組織的・継続的に連携し、最北の附属学校園とし
て道北地域の教育に貢献していく所存です。今回の研究大会
でも対面もしくはオンラインで授業を参観いただき、研究協
議に御参加いただいて、御教示を賜りますことを願っており
ます。



北海道教育大学
附属旭川小学校 校長
笠原 究